

2022年度 第1回 千葉大学アカデミック・リンク/ALPSセミナー

エビデンスベースで考える、ポストコロナの学習支援

— 大学図書館における調査と実践から —

講師

稲葉直也氏

早稲田大学人事部 ((株)早稲田大学アカデミックソリューション出向)

谷 奈穂

千葉大学附属図書館



日時

2022年 **5月24日** (火)

▶▶▶ 14:30~16:00

開催方法 Zoomによるウェビナー

参加費 無料

申込方法

5月20日(金)までにお申込みください

下記URLから申し込みをしてください。
二次元バーコードからもアクセスできます。



https://alc.chiba-u.jp/seminar/al-seminar/seminar2022_01.html

主催・問い合わせ先

▶ 千葉大学アカデミック・リンク・センター

教育関係共同利用拠点「教育・学修支援専門職を養成する実践的 SD プログラムの開発・運営拠点」

千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学西千葉キャンパス内

TEL:043-290-2891 MAIL:alps-info@chiba-u.jp URL: <https://alc.chiba-u.jp/>

2022年度 第1回 千葉大学アカデミック・リンク/ALPSセミナー

エビデンスベースで考える、ポストコロナの学習支援

— 大学図書館における調査と実践から —

- ▶ 日時 2022年5月24日(火) 14:30～16:00
- ▶ 開催方法 Zoomによるウェビナー
- ▶ 講師 **稲葉直也** 氏 早稲田大学人事部 (株)早稲田大学アカデミックソリューション出向
谷 奈穂 千葉大学附属図書館
- ▶ 概要

COVID-19 パンデミックの下、2020年度当初から多くの大学で立ち入り禁止などの措置が取られ、授業がオンライン化することで「誰も来ない大学」「誰も来ない大学図書館」が出現した。このような状況下でも学生の学びを止めてはならないという使命感から大学図書館では様々な教育・学習支援活動がなされた。これらは学生が学習を続ける上で当面直面している困難を解決するためのもの、あるいはこれまで紙ベース、あるいは対面を前提として提供されてきたサービスをオンラインで実施するということに主眼がおかれるものであり、デジタル技術を用いていたとしても、教育・学習の質の向上やサービスの合理性を追求するというデジタルトランスフォーメーションの本質とは異なる、緊急対応としてのデジタル化であった。

未だCOVID-19 パンデミックの終息は見えないが、社会にはポストコロナを見越した様々な動きがある。物理的な対面による教育の実施を求める声は大きいですが、全てが元に戻るというわけではない。高等教育機関はこの2年間の予期しなかったデジタル化の蓄積の上に、新たな教育・学習の形を追求していくことになるだろう。しかし、新たな環境の下で、学習のスタイルには変化が見られたのか、そのような学習環境・スタイルの変化は新たな支援のニーズを生み出したのか、我々は十分に理解しているわけではない。

今回のセミナーでは、学生の学習行動と図書館やメディアの利用に関心を払い、COVID-19 パンデミック下においても継続的に調査を実施してきた二つの大学の事例の報告を踏まえ、オンライン学習環境下において学習にどのような変化が生じ、どのようなニーズが生じているかを把握することの重要性を確認しながら、ポストコロナの学習支援のあり方を検討していきたい。

▶ 申し込み方法

5月20日(金)までにお申込みください

下記URLから申し込みをしてください。二次元バーコードからもアクセスできます。

https://alc.chiba-u.jp/seminar/al-seminar/seminar2022_01.html



▶ 主催

千葉大学アカデミック・リンク・センター

教育関係共同利用拠点「教育・学修支援専門職を養成する実践的SDプログラムの開発・運営拠点」

千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学西千葉キャンパス内

TEL:043-290-2891 MAIL:alps-info@chiba-u.jp URL: <https://alc.chiba-u.jp/>